

# JSA 公式ハンディキャップ制度

## I. 概要

本制度は、プレイヤーそれぞれの実力にあわせて、一定の基準によりハンディキャップを与えることにより、最後まで十分にゲーム性を保ちながら楽しんでもらうためのものです。

ハンディキャップは実技によって測定するものであり、プレイヤーの実力を大まかに点数によって表します。測定後、調整戦やトーナメントに参加することにより、ハンディキャップが変動し、よりプレイヤーの実力に近い点数となっていきます。

ハンディキャップの有効期間は、調整戦などによる最後のハンディキャップの変動から1年間とします。1年以上変動なく経過した場合は、改めて測定しなおしてください。また、一度測定した後は6ヶ月間受験できません。

## II. ハンディキャップ算出方法

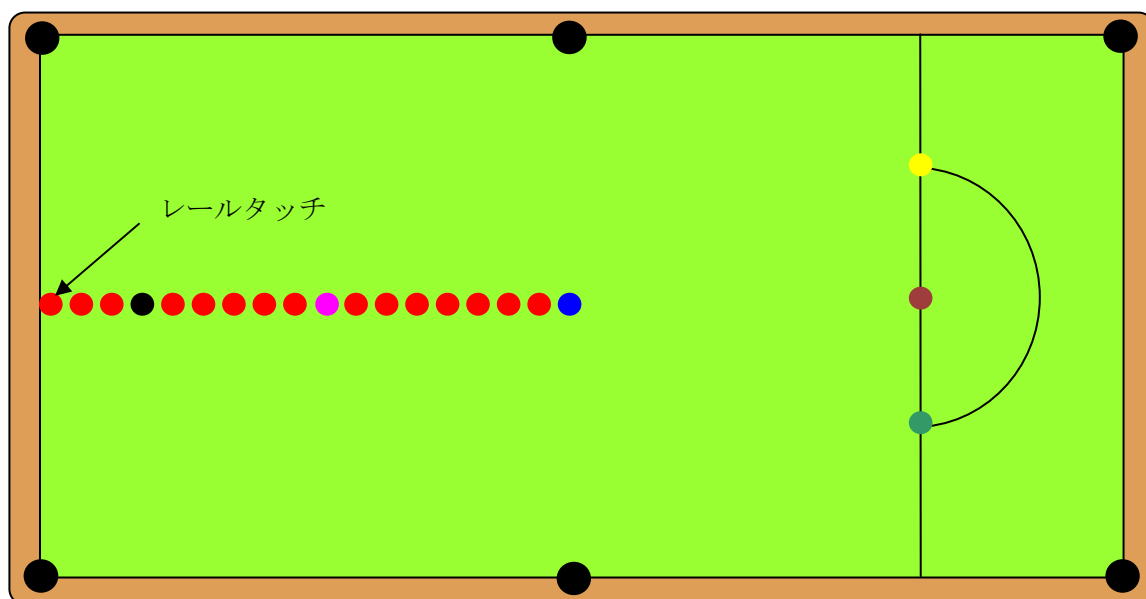
ハンディキャップは3種の試技から求めます。

通常のスヌーカーテーブル(12フィート、ポケットの大きさなども常識の範囲内)でパートナー(上級者推奨、1名以上)付き添いの元、実施してください。

### 試技①：ラインナップ

ラインナップをボールインハンドから4回行います。

ラインナップのスタート時の形は、トップとブラックの間にレッド3個(1個はレールタッチ)ブラックとピンクの間にレッド5個、ピンクとブルーの間にレッド7個です。



ラインナップ4回の点数と、自身のゲーム中（公式戦、相撞き問わず）でのハイエストブレイクを加え、その平均点を算出します。（少数点以下は四捨五入）

※以下、赤字は例

	1回目	2回目	3回目	4回目	自己ハイエスト	合計	平均
点数	16	8	1	24	41	90	18

対応表を用い、平均点から試技①ハンデ値を求めます

$$(16 + 8 + 1 + 24 + 41) \div 5 = 18$$

対応表

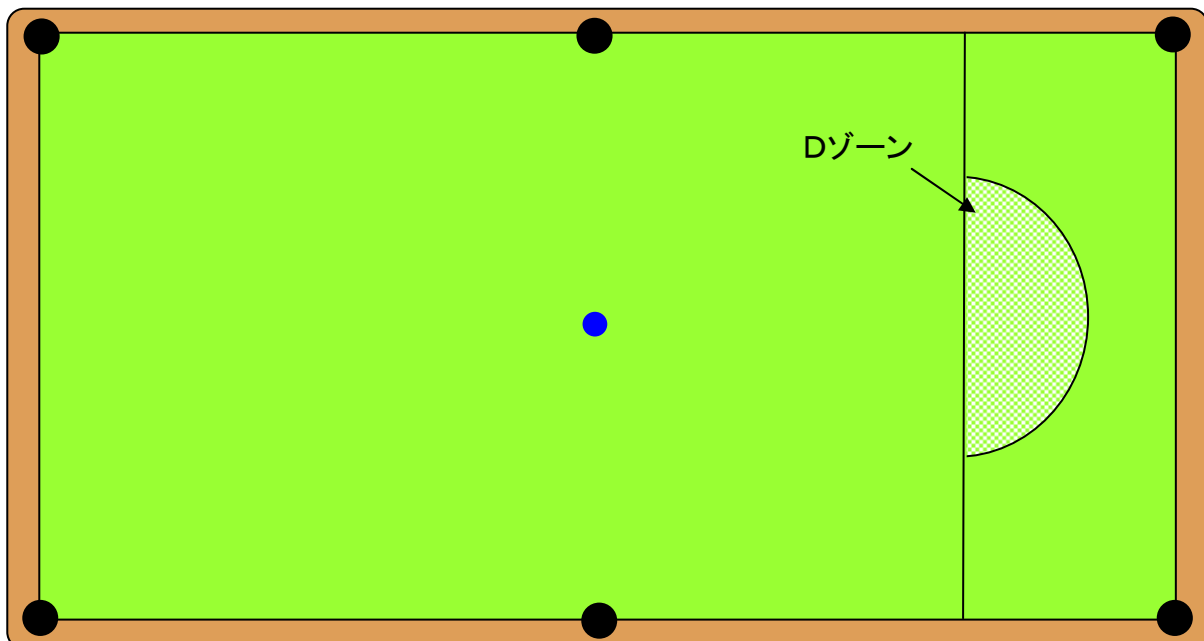
平均値	ハンデ値
0～8	+64
9～16	+56
17～24	+48
25～32	+40
33～40	+32
41～48	+24

平均値	ハンデ値
49～56	+16
57～64	+8
65～72	±0
73～80	-8
81～88	-16
89以上	-24

試技①ハンデ値 +48

### 試技②：ロングポット

ボールインハンドで、Dゾーンからブルースポットのボールをコーナーポケットへポットします。  
試技は1回のみです。



成功した場合：ハンデ値 -4

失敗した場合：変動無し

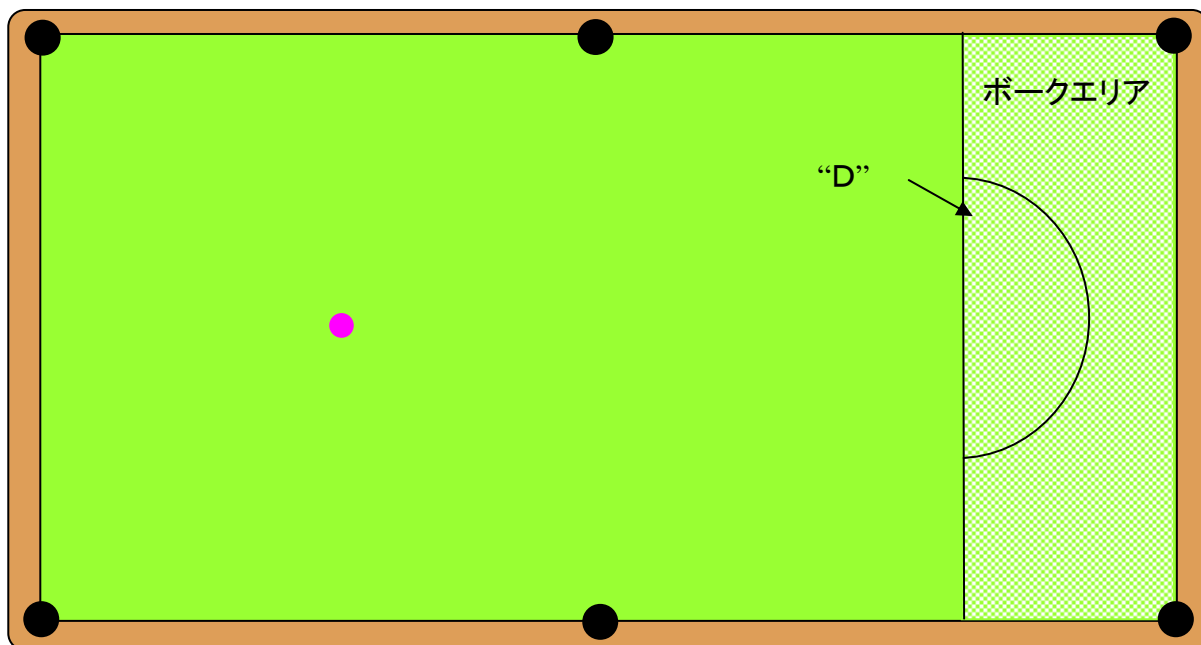
試技②ハンデ値 -4

### 試技③：セーフティーショット

ボールインハンドで、“D”よりピンクスポットのボールに当て、ボークエリアへキューボールを返してきます。

ピンクボールのポットについては是非を問いません。

試技は1回のみです。



成功した場合：ハンデ値 - 2

失敗した場合：変動無し

試技③ハンデ値 -2

試技①、②、③の合計ポイントがハンディキャップ点数になります。

ハンディキャップ点数 +42

### Ⅲ、使用方法

ハンディキャップを使用した対戦の場合、まず互い点差を求めます。

差分をゲームスタート時にハンディキャップの多いプレイヤー側に入れてから開始します。

例) プレイヤーA：54点

プレイヤーB：32点

$$54 - 32 = 22$$

点差22点分をゲームスタート時にプレイヤーA側に入れてからゲームを開始します。

## IV. ハンディキャップの変動について

### ○調整戦（各個人戦）による変動

ベストオブ3（2フレーム先取り）で行ってください。

結果（2-0）の場合      勝ち：ハンディキャップを-2  
負け：ハンディキャップを+2

結果（2-1）の場合      勝ち：ハンディキャップを-1  
負け：ハンディキャップを+1

### ○ハンデトーナメント戦による変動

基本計算式：勝敗差数 × (-1) - 1 = 増減値

- ・ トーナメント一回戦負けは、上記計算関係なしで、+1
- ・ 優勝は上記計算後、さらに-2
- ・ 予選リーグ、決勝トーナメントと行った場合は、予選リーグ後一度計算し、決勝トーナメントを改めて計算する。この場合の決勝トーナメントにおいて、上記「トーナメント一回戦負け+1」は該当しない。

例 A) 16人参加のトーナメントで優勝した場合（4勝0敗）

勝敗差数：4

増減値：4 × (-1) - 1 - 2 = -7      次回ハンディキャップは、現在の値より-7点

例 B) 16人参加のトーナメントで3位タイだった場合（3勝1敗）

勝敗差数：2

増減値：2 × (-1) - 1 = -3      次回ハンディキャップは、現在の値より-3点

## V. ハンディキャップ値の取り扱いについて

ハンディキャップ値は、各自で保管ください。JSAでハンディキャップを記録するサービスは行っておりません。

国内の一部店舗では、本ハンディキャップ制度を採用した大会等の開催があり、その際に店舗によってハンディキャップが記録されることがありますが、その後、他店舗等での大会に参加したり、調整戦等でハンディキャップ値が変化した場合、ご自身で管理の上、他の大会に出場する場合にはその旨を申し出るようにしてください。

以上